

「応急給水拠点」の整備を行いました

応急給水活動に必要な飲料水を確保する目的で「緊急遮断弁」の設置をはじめ、災害対策用の備品の整備を行い、現在、河南町では下記の水道施設が応急給水拠点となります。

遮断弁は、大きな地震（震度6以上）が発生し、又は、異常な流量を感知したときに自動で配水を止めて水の流出を防ぐことができます。応急給水の活動拠点として、避難所などの緊急性の高いところへの供給をはじめ、住民の皆様への飲料水の供給が可能となります。

今後は、更に震災等の災害やその他の危機に備え、被害を最小限にとどめるため、安心・安全なまちづくりのため、日々様々な取組を行ってまいります。

▶大宝低区配水池（有効容量 2,000m³）

▶大宝高区配水池（有効容量 800m³）

▶さくら坂低区配水池（有効容量 1,000m³）



■緊急遮断弁の設置



■拠点の位置付けがわかる看板を設置しました。

【大宝低区配水池】

【大宝高区配水池】

【さくら坂低区配水池】



■災害対策用備品を各拠点に配備しました。

